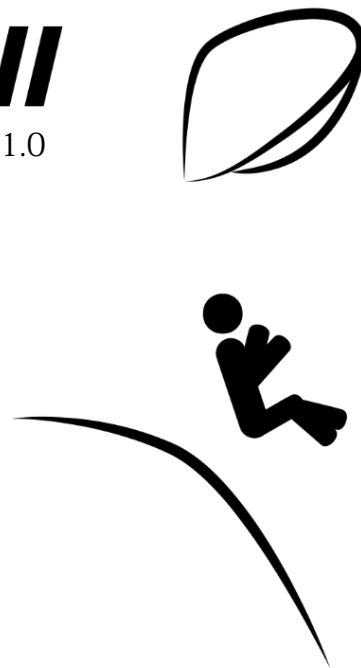
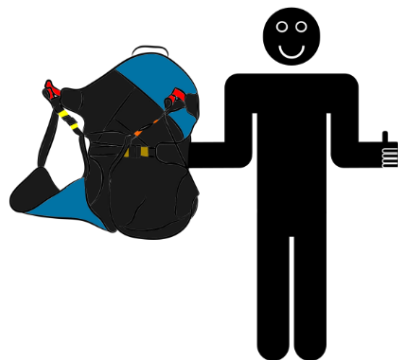




Karver II

ユーザー・マニュアル 日本語版V1.0



有限会社エアハート コーポレーション
〒125-0035 東京都葛飾区南水元2-26-11
Bell Wood bldg.101号室
TEL:090-4735-6585
WEB:[https:// www.airheart.jp](https://www.airheart.jp)
E-mail:info@airheart.jp

More info on the web: www.kortel.design.com - info@kortel.design.com - tel : +33950107327

目次

KortelDesignハーネスのユーザーマニュアルと安全注意事項.....	2
1) ハーネスの設定.....	2
1.1 商品を受け取った際.....	2
1.1.1 一般的なポイント.....	2
1.1.2 キャノピーとハーネスの接続.....	3
1.1.3 背面ストラップ (B) (figure 1)	4
2) 予備パラシュート（ハンドルタイプ、コンテナ接続部、ポケット内の予備パラシュートの向き）.....	4
2.1 フロントコンテナ（取り付けと取り外し）.....	4
3) 飛行前点検.....	4
3.1 予備パラシュート.....	4
3.2 設定.....	4
3.3 背中保護.....	5
3.4 アクセラレーター.....	7
4) テイクオフ.....	7
5) フライト中.....	8
6) ランディング.....	8
7) ウィンチと組み合わせて使用してください.....	9
8) タンデム飛行.....	9
9) 水面上での制御された環境下での飛行.....	9
10) アクセラレーター.....	9
10.1 パイロット運用	9
11) メンテナンス、修理、洗浄、点検.....	10
11.1 チェック	10
11.2 修理.....	10
11.3 洗濯.....	10
11.4 保管.....	10
11.5 着水の場合	10
11.6 着陸が激しい場合	11
12) 製造上の欠陥、摩耗、シリアル番号.....	11
13) 詳細情報	11

Kortel Design ハーネスのユーザーマニュアルと安全注意事項

このたび、Kortel Designのハーネスをご購入いただき、誠にありがとうございます。

ご自身の安全のため、このマニュアルをよくお読みいただき、使用前に必ず指示に従って操作してください。

いかなる場合においても、この文書またはウェブサイトwww.korteldesign.comに掲載されている情報は、販売店またはインストラクターの助言に代わるものではありません。

注意：飛行前に必ず行ってください。:

- ハーネスに座り、吊り下げられた状態で調整する
- 予備パラシュートを装着する
- パラグライダーのライザーをハーネスに正しく取り付ける
- スピードバーの調整。短すぎると危険です！！！！！！

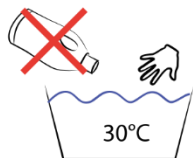
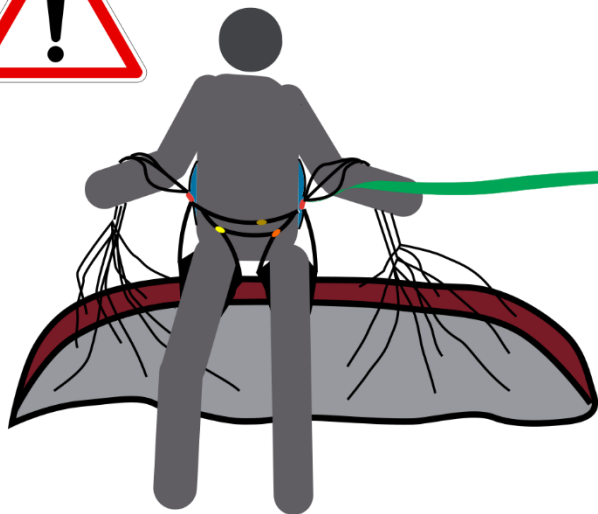
1) ハーネスの設定

1.1 製品を受け取った際

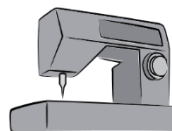
1.1.1 一般的なポイント

- 空中で不快な驚きを避けるため、ハーネスに座り、吊り下げられた状態で調整することが重要です。ハーネスの安定性を調整するため、ロールを重視したサスペンションシステムの使用が推奨されます。

1.1.2 キャンプーとハーネスの接続



2 years
ans
anni
Jahre
años

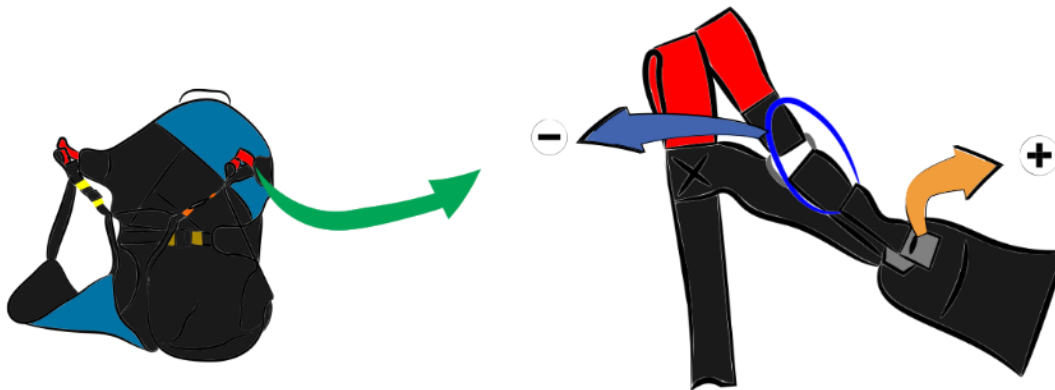


1.1.3 背面ストラップ(B) (figure 1)

パイロットの背もたれの傾きを調整してください。

過度にリクライニングした姿勢は、飛行中の快適性を損なう（視界が狭くなる）ほか、着陸時の姿勢調整が困難になる可能性があります。また、ハーネスが過度にきつい場合、離陸後にハーネスに正しく装着することが困難になります。

メインポケットおよび/またはバラストコンテナに搭載された重量に応じて、この設定は空中で調整が必要になる場合があります。



2) 予備パラシュート（ハンドルタイプ、コンテナ接続部、ポケット内の予備パラシュートの向き）

2.1 フロントコンテナ（取り付けと取り外し）

製造元が提供するコンテナの取扱説明書をご参照ください。

3) 飛行前点検

3.1 予備パラシュート

離陸前：

フラップと針が正しく取り付けられていることを確認してください。

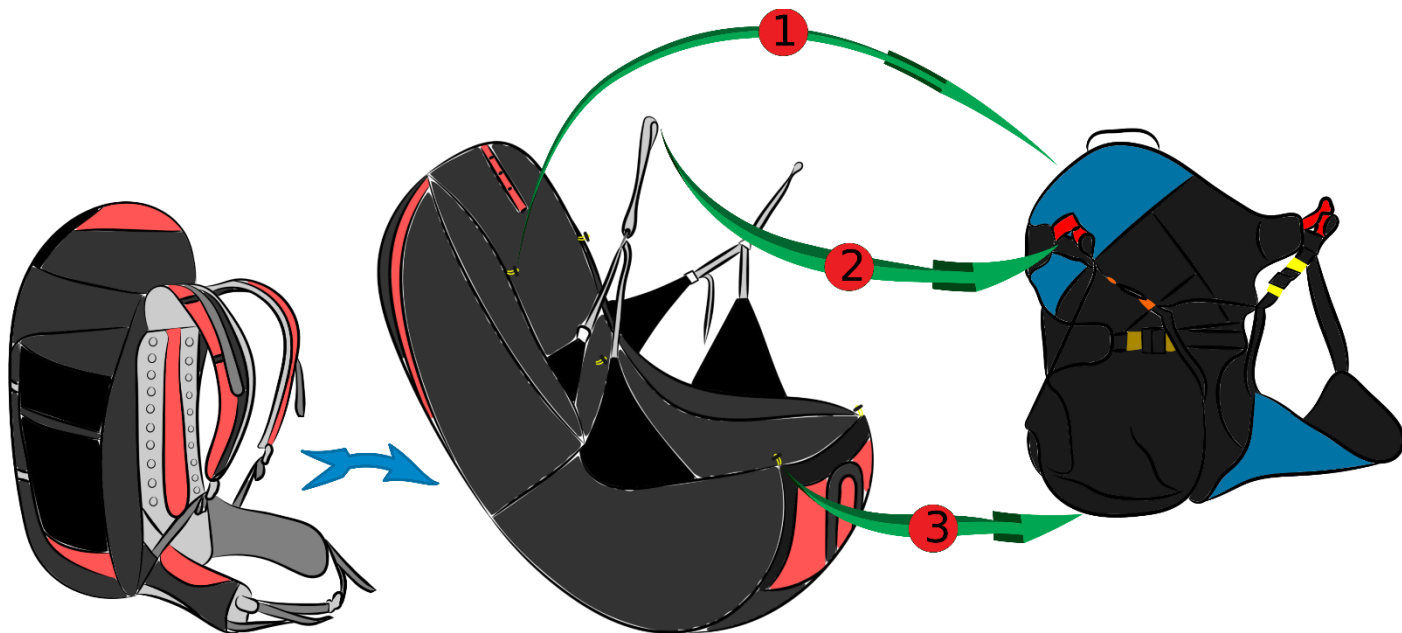
ハンドルがスロットに正しく固定されているか、またはベルクロに正しく取り付けられていることを確認してください。

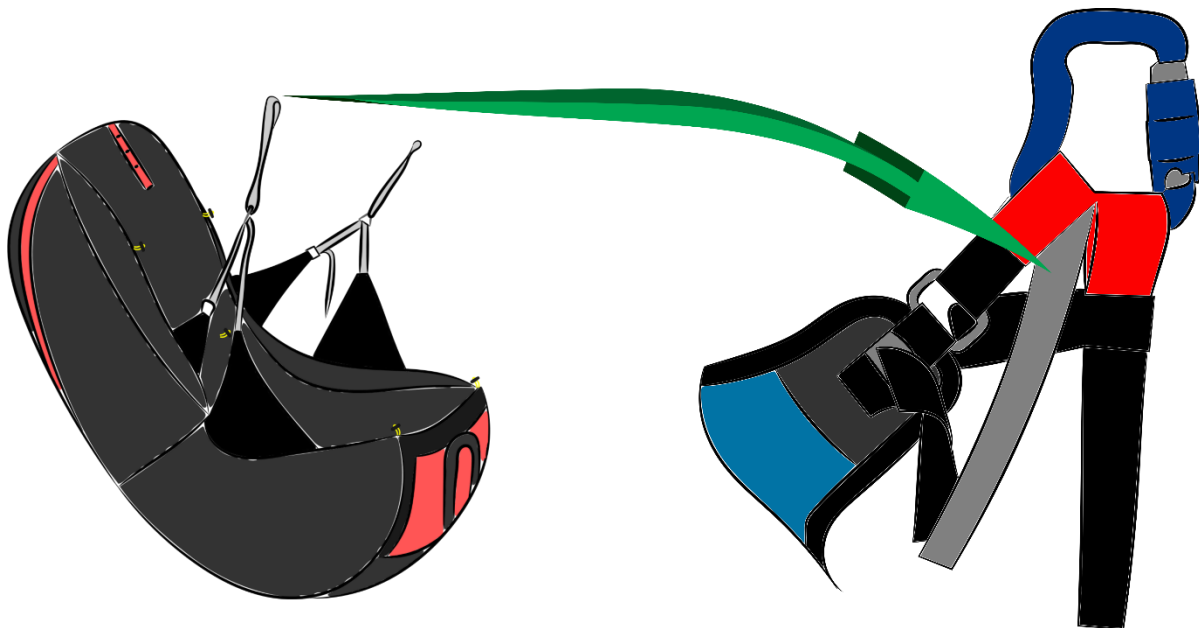
3.2 設定

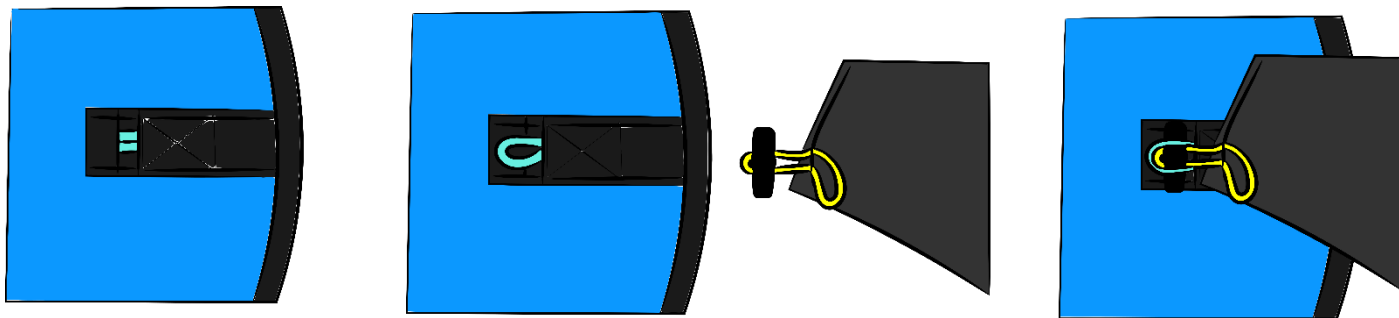
理論上は、ハーネスは正しく調整されていますが... もしかして、友達に試させたんですか？！！

その場合、設定が正しく再調整されているか確認してください。特に後部位置に注意してください。

3.3 背中保護







3.4 アクセラレーター

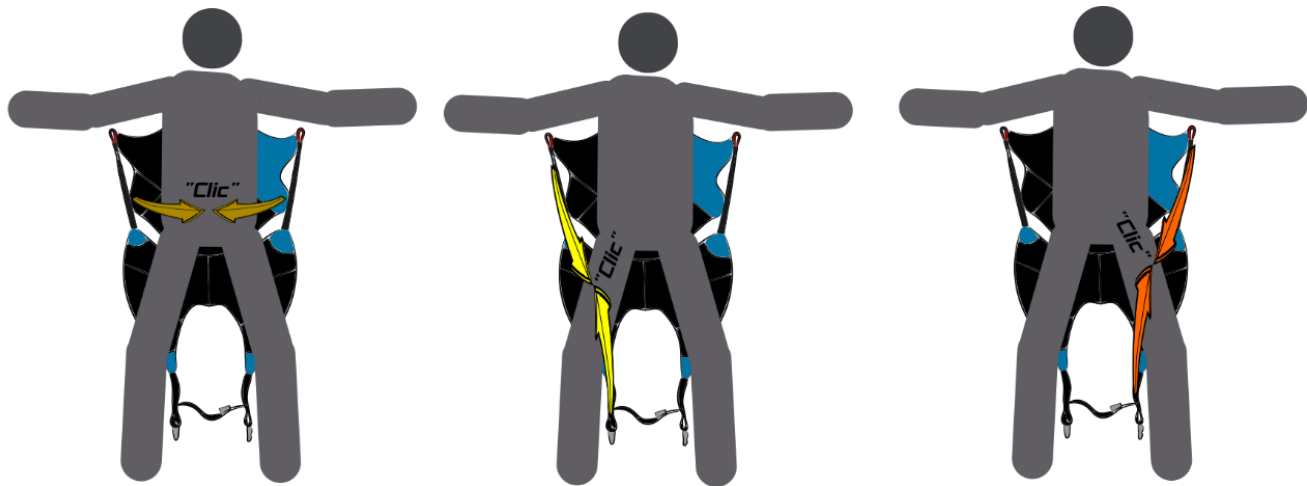
スピードバーのラインが短すぎると、パラグライダーが永久に加速し続けるリスクがあり、操縦が非常に困難で危険な状態になります。着陸して問題を解決するか、空中での切断を選択する方が良い。（緊急時用にアクセスしやすいフックナイフを携帯してください）。

ハーネスを貸す際は特に注意してください。

4) テイクオフ

ハーネスの調整に加え、パイロットの離陸技術も極めて重要です。

事前点検（第3章参照）を実施した後、ハーネスを以下の手順で装着することを推奨します：



5) フライト中

飛行のそれぞれの段階には、最適なハーネスの位置があります：

熱気流中や地形に近い移行区域では、障害物をより明確に確認し、下方向からの情報を観察するため、より直立した姿勢を取ってください。雲底付近の熱上昇気流や移行域では、空気に身を任せ、地面を忘れ、雲を観察してください。強い乱気流では、背筋を伸ばし、足を体の方へ引き寄せます。腹部と腰の筋肉を使い、太ももの外側でメインのストラップに圧力をかけながら、ロール運動を予見し制御するようにします。

操縦効率を向上させるため、ハーネスの使用法に異なるアプローチを試してみてください。これらはターン品質に影響を与える可能性があります：肩を回す、腰を振る、足を交差させる、逆ロールを使用してよりフラットなターンを行うなど。

各パイロットには、操縦効率を向上させるための独自の感覚と技術があります。好奇心を持って、新しいことを試してみてください。

6) ランディング

飛行の最も繊細な段階です。

疲労、脱水症状、下肢の身体知覚の低下、人生で最も美しい飛行の陶酔感など、これらの要因は必ずあなたの注意力を低下させます。再び集中する時が来ました！環境を分析し、走り出す準備を整えましょう－それがあなたの着陸装置です。フライトが長く寒かった場合は、足首と膝を動かして脚の可動域を回復させましょう。着陸時は脚で着地し、背中への保護部分に体重をかけないように注意してください。

7) ウィンチと組み合わせて使用してください

すべてのKortel Designハーネスはウィンチ飛行に対応しています。コルテルハーネスには、ウィンチに接続するための専用のバックルは付属していません。ハーネスの取り付けポイント（赤色の生地で保護されたストラップ）にクイックリンクまたはカラビナを取り付け、リリースシステムに接続することを推奨します。クイックリリースシステムには、ハーネスとキャノピーを接続するリンク/カラビナとは別のカラビナまたはクイックリンクを使用してください。

8) タンデム飛行

すべてのKortel Designハーネスは、乗客またはパイロットのタンデム飛行に使用可能です。ただし、ソロハーネスはタンデム予備パラシュートの容量を受け入れることができません。したがって、タンデム予備パラシュートを使用して飛行するためには、専用の「タンデム」モデルハーネスを使用することが強く推奨されます。乗客用のハーネスの背部保護がパイロットの動作を妨げないことを確認し、それに応じてスプレッダーを選択することが重要です。

9) 制御された環境下での飛行（水面上）

予備パラシュートの使用を容易にし、水面着水時の激しい衝撃を和らげるため、ハーネス内のフォーム製背部保護パッドを装着したままにしておくことをおすすめします。経験から、水中の「亀効果」問題は二次的な問題であることがわかっています。

10) アクセラレーター

危険：スピードバーが短すぎると、パラグライダーが永久に加速する可能性があります！！！！

10.1 パイロット運用

フットストラップやボッドがない場合でも、両足で加速することが可能です。この場合、スピードバーの設定は完全に左右対称になっています。翼が崩壊した場合、スピードバーを完全に解放することが不可欠です：注意: ブーツのフックに注意してください。

11) メンテナンス、修理、洗浄、点検



11.1 チェック

ハーネスの老朽化による事故はほとんど発生していませんが、ハーネスのメインウェビング、背部保護部分、およびコアシッチが適切な状態を維持していることを確認することが重要です。

紫外線、湿度、および摩耗は、ハーネスの製造に使用される材料の性質を変える可能性があります。

可能性は低いものの、材料の欠陥によりハーネスの部品の一部が早期に老化する可能性があります。

ハーネスは、使用状況に応じて2年ごとに目視検査を受けることをおすすめします。特に、木や岩への着陸時、または救助隊の介入があった場合などは、必ず検査を受けてください。

販売店までご連絡ください。販売店が適切な専門家に紹介いたします。

11.2 修理

裂けや破れ、縫製の損傷、または早期の摩耗が発生した場合は、販売店までご連絡ください。販売店が適切な修理工場をご紹介します。

11.3 洗濯

ハーネスは、新鮮な水とマイルドな石鹸で洗うことができます。

その後、ハーネスを風通しの良い湿気の少ない場所で乾かしてください。

乾燥機は使用しないでください。洗濯時は30°Cを超えないようにしてください。

背面の保護部分やシートプレートは絶対に洗わないでください！！

よくすすぎ、風通しの良い日陰で乾かしてください。直射日光を避けてください。

11.4 保管

理想的には、ハーネスは直射日光を避けた乾燥した場所で、穏やかな温度で保管してください。

背部の保護部分を圧縮しないでください。

ハーネスの一部で硬い素材が含まれている部分を折り曲げないようにご注意ください。

11.5 水面着陸の場合

海水中では：ハーネスを真水で洗い流し、その後乾燥させてください。洗濯に関する詳細は第14.3章を参照してください。

淡水の場合：第14.3章の洗浄手順に従ってください。

11.6 着陸が激しい場合

予備パラシュートが損傷していないことを確認し、その展開を確認してください。

背面保護が正常な状態であることを確認し、カバーに穴がないこと、および正常な形状に戻っていることを確認してください。

シートプレートが破損していないことを確認してください。

ハーネスの重要な部分（縫製部分を含む）に破壊的な摩耗がないことを確認してください。

12) 製造上の欠陥、摩耗、シリアル番号

ハーネスの背面のポケットの中に、使用上の主な注意事項が記載されたステッカーが入っています。そのステッカーには、ハーネスのシリアル番号が記載されています。

バックポケットのないハーネス（マウンテンハーネスなど）では、ラベルはハーネスに直接取り付けられています。

摩耗、縫製部の破れ、または材料の破損が発生した場合、同じシリーズの他のハーネスを確認するため、シリアル番号をご記入ください。

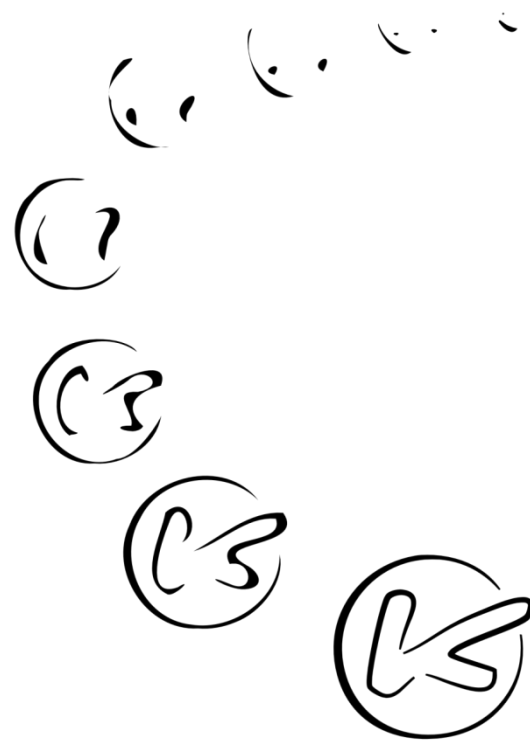
法的保証期間の1年を過ぎた場合、製造または設計上の欠陥による問題に限り、無償で修理いたします。

13) 詳細情報

ご質問や追加の写真が必要な場合は、当社のウェブサイトをご確認くださいか、下記住所までご連絡ください。

Kortel Design - 1096 Avenue André Lasquin - 74700 Sallanches - FRANCE

Tel +33 (0)4 50 47 82 77 www.kortel.design.com info@kortel.design.com



Kortel Design
1096 avenue André Lasquin
74700 Sallanches - France
Tél: +33950107327 - E-mail: info@korteldesign.com
www.korteldesign.com